

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09030080

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	3	水産業の振興	事業優先度	C		
単位施策	1	水産資源の保護・増大	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	さけ・ます蓄養施設整備事業		見直し年度			
事業期間	平成29年度		担当課	9 産業振興課		
事業主体	雄武漁業協同組合		関係課	#N/A		
事業指標	孵化場施設の整備調査		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
事業目標	整備調査		関係例規・法令名			
住民参加	無		関係個別計画名			
住民協働	無					

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	さけ・ます資源の保護増大を図るため、補完河川である雄武川上流に養魚池を整備するため、調査事業を行う。					
						孵化場施設の整備調査
計 画 事 業 費	事業費(千円)	0	0	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
実 績 事 業 費	事業費(千円)	0	0	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
						孵化場施設の整備調査
						※事務事業評価結果 C-廃止
						整備調査
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		全体達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		備考欄				

事業名	さけ・ます蓄養施設整備事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	水産係長	高田 勉

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	漁業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	整備調査箇所								
【抱える課題やニーズは】	さけ・ますの資源量及び漁獲量が減少傾向にある。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	さけ・ますの資源の増大を図る。	① 整備調査箇所	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1箇所</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1箇所</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	1箇所	実績値	1箇所	達成度	100.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	1箇所										
実績値	1箇所										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	資源量及び漁獲量の増により、漁業経営の安定化を図る。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値	〇〇	実績値	〇〇	達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値	〇〇										
実績値	〇〇										
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	漁協及び関係機関による調査	孵化場施設の効果の調査									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

概ね必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	さけ・ますの資源量の増大を図るため、孵化施設整備の際の効果
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	を調査する必要がある。
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況	町内河川において、施設整備の効果は低い調査結果となった。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	調査・検討のため事業費をかけずに行えた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
/課題あり	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	費用負担も無く、公平性が保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
C		
河川の流量等を踏まえ、さけ・ますの遡上・回帰性の調査を行ったが、現状において効果が低いとの結果になった。		

今後の展開方向
(Action)

廃止		
現状において、施設整備の効果は低い調査結果になったことから、本事業は廃止することとする。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止